

リトルプレイス梅郷教室

		項 目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	AM児童発達支援、PM放課後等デイサービスに分けることにより、のびのびと活動できる。また、スタッフとお子様の心の距離を保てるようになっております。
	2	職員の配置数は適切であるか	法令で必要とされる配置数に加え、指導員又は保育士を1名以上配置(常勤換算による算定)しております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	教室内は段差がないですが、入り口にスロープや手すりの設置はしておりません。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	毎月カンファレンスを行い、事故報告や改善などの話し合いをしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者様へ評価表に記入していただき、満足度調査アンケートを実施し、スタッフ間共有し業務改善につなげています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	当社のHPIにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在は、利用者と自社の評価をとっております。第三者による外部評価については、現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	定期的にスタッフの運動研修を取り入れています。また、市町村、県庁によるオンデマンド研修にも、積極的に参加しております。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	アセスメントを取った上で児童発達支援・放課後等デイサービスの個別支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	リトルプレイスでは運動メニューを作成し、毎月行っているカンファレンスで情報交換をし共有しているので、その日の児童にあった運動をするよう自社研修でも周知しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	平日は運動療育をメインに、休日及び長期休暇は時間に余裕があるため、運動療育に加えダンスやレク、外出も取りいれています。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	イベントなどを考えたり、個別支援計画での課題をもとに療育支援をしています。(現在は行っておりませんが、以前は分園との交流も行っておりました。)	

	15	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	ア・自立支援と日常生活の充実のための活動 イ・創作活動 ウ・地域交流の機会の提供 エ・余暇の提供 日々の運動メニューや自由時間含め、利用時間内で様々なメ ニューを組み合わせています。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日 行われる支援の内容や役割分担について確認して いるか	毎日個々の経過記録を記入し、共有できるようにしています。 また、毎日振り返りの時間を設けて、子どもたちの様子や援助 の仕方を話し合っております。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その 日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を 共有しているか	
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、 支援の検証・改善につなげているか	毎回活動日誌及び経過記録をとり、スタッフ間で共有し、お子 様の成長や環境の変化に合わせて、指導内容や方法を話し 合っています。
	19	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービ ス計画の見直しの必要性を判断しているか	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の継続や、見直 しをご家族の方と面談を行っております。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が 参画しているか	お子様の支援について担当制はとっておりませんが、児童発 達支援管理責任者をはじめ教室内全てのスタッフが お子様 の状態を把握しチームでの支援を展開しています。会議には 児童発達支援管理責任者と指導を担当するスタッフ1名程で 参画することが多くなっております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交 換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎 時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っ ているか	学校の先生やスクールカウンセラーの方などのご要望にお応 えして 学校での支援方法に関するご提案をおこなっていま す。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、 子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	協力医療機関と協定をしていますので、連絡体制はちゃんと 整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こど も園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と 相互理解に努めているか	活動日誌(連絡帳)などで情報共有できる体制を整えていま す。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から 障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それ までの支援内容等の情報を提供する等しているか	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター 等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている か	定期的に訪問し情報共有をしています。また、定期的に研修 も行っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のな い子どもと活動する機会があるか	学童などとの地域交流などは、限られた時間内では難しいた め今のところ行っておりません。今後必要に応じて対応してい きたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加してい るか	協議会への要請があったときに参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解を持っている か	支援終了後にその日の活動などを保護者の方に報告し、保 護者の方からの相談も受け対応しております。また、一日の 様子を、保護者の承諾のもと画像にて共有しております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に 対してペアレント・トレーニング等の支援を行って いるか	支援終了後に保護者の方とお話するときに、ご家庭や学校 での対応方法などを支援しています。ペアレント・トレーニング については研修などへ参加し知識を高められるようにしていま す。

	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約の際に運営規定や支援内容利用者負担等のお話はしっかりと行っております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	保護者の方からの相談の際に面談を行ったり、定期的に運動している姿を見に来ていただき、成長したところなどを説明させていただいております。
保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	現在は父母の会の活動などには参加しておりません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情担当窓口の体制を整え、契約の際に苦情などの説明はさせていただいております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月の利用希望表にイベントなどの告知をし、保護者の方に発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	個人情報などのファイルは鍵付きの書庫にて保管しております。また、データなどに関してはPCにパスワードをかけて適切な対応をしております。
	36	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	定期的に面談を行い対応しております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	利用希望者に向けて見学会などは常に行っていますが、まだ地域の方を招待するようなイベントは実施しておりません。児童の支援施設をしていることは認識されており、声をかけていただくことはあります。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアルは策定し職員で周知しております。感染症対応マニュアルは今後策定していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	様々な場面を想定し、定期的に避難訓練を行い記録に残しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	管理者などが虐待防止研修(オンデマンド)に参加し、カンファレンスで情報交換をしています。また、職員の希望に応じて研修に参加し、内容を報告書としてまとめ職員間で共有しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	利用希望者に対し、見学時に説明及び契約書などで説明をおこなっています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	すべてのお子様のアレルギーの有無を確認しており、指導時に該当物質との接触がおこらないようにしております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット事例はその都度作成し、毎月行っているカンファレンスにより、情報交換し共有しています。